



TITLE:

通信

AUTHOR(S):

---

CITATION:

通信. 天界 1934, 14(161): 437-440

ISSUE DATE:

1934-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/166866>

RIGHT:

## 倉敷天文臺通信

六月三日、高松宮兩殿下行啓のことは前月號に水野氏が詳しく報ぜられた通り、私達一代の光榮であつた。これを記念するため、10センチ反射望遠鏡が岡山の坂本工學士の御手で研磨され赤道儀に組立てられることになつた。七月下旬の月食の頃までには使へるやうにならう。

新會員廣内君は倉敷商業學校の生徒で、有志數君と共に毎月第二土曜午後、私が臨時先生に昇進して座談することにしてゐる。若い人に不思議に強く働きかけるのは美しい天體寫眞である。夜に入ると座敷が自然暗室になるので、曇つた夜は寫眞の焼付を勉強する。級友達に印書を賣ると、何でも二十三割とかの利益になる由で、さすがに商賣人の卵の美事な御手際と感心してゐる。

14日には豫定の通り岐阜縣美濃町の廣瀬君が別府旅行の歸途を立寄られた。二年振りの對顔で、積り積つた話をした。觀測室内で大反射鏡を取入れて記念撮影をしたが、私が兄貴顔してゐるところは發表しないことにする。

14日は水星の最大離角の日で、細い月との相對位置から19時30分には望遠鏡の視野に入れ、6日月位の姿に親しんだ。又、天頂近いヘルクレス球狀星團を200倍をかけて見たが大反射の像はいつまでも印像に残る例である。

廣瀬君は同夜旅館につかれ、翌15日は大原美術館を參觀の上、午後岡山へ向はれた。吉備園子をドツサリ仕入れて歸國されたときく。

16日は第三土曜の公開日である。朝は雨であつたが、夕方から晴天になり、かねて申込のあつた鳥取縣の小學生の團體を迎へた。水野氏も岡山から來られ、大流行の水星を見た。望遠鏡で水星を見た小學生は他にないかと思ふ。

29日午前、岡山の深井氏が來訪され、イタリ1の Vaticana 天文臺發行の印刷物を二部贈られた。一部は赤道座標銀河座標轉換表であるが、他の一部は私にはよくわからない。

六月の倉敷はむやみに暑い。(荒木健兒)

## 松山支部より

謹啓 支部長河路先生が3週間も病氣で休まれたので天文同好會も憂色に羽されて居りましたが6月7日より御出勤で皆喜んで居ります。

1. 山本進氏は木星の觀測
2. 森永恭三氏 太陽黑點
3. 大野和彦氏 小遊星 數回
4. 變光星の觀測を脇田氏、半田氏、小生と時々致しました。他の會員は相當効果を上げて測定して居ります、只今皆準備の時代ですから今少し時間を終へると御報告出来ると思ひます。
5. 本校圖書館に星、天文、に關する本を此度うんと購入致しましたので都合良くなりました。

土 居 清

急	告
---	---

山本一清博士は JOBK より第二放送, 下の如し:

昭和九年九月11日	星座	同	九月18日	遊星
同	13日 太陽	同	20日	恒星, 宇宙
同	15日 月	同	22日	秋分, 觀月, 曆

放送協會より美しきテキストを發行す。

### 星を愛する同好の皆様!

「讀者欄」の開設を心から喜びます。私は只今は規則的には黒點觀測しかしてゐません。しかし此の休を利用して變光星を始めるつもりです。私の器械は38耗屈折, 75耗反射と云ふ小さいものですが, 大いなる意氣を以て觀測するつもりです。未熟なものですから, よろしく御指導下さい。

横濱市中區西戸部町山王山六八五 森 久 保 茂

こんな月があるものか !!

誤りは何所にあるか?



小兒さんにも分ります

(京都金閣寺の夜として或る店に出てゐたもの)